

ご入学 おめでとうございます  
新しいステージでの更なる発展のために

父母ガイダンス

2018 / 4 / 6

# 今日のテーマ

## 自由度の高い大学生活

1. 大学生活について
2. 4年で卒業するには
3. 父母のみなさまへ

# 2018年3月 経済学科卒業率

**85.7%**

約6人に1人  
卒業ができなかった計算になります

なぜ15%近くの学生が、、、

卒業に必要な単位を4年間で修得できなかった

ではどうして足りなくなってしまったのか、、、

大学生活での自由度の高さにも一因がある

1

# 大学生活について ～高校までと比べて

# クラス

- 高校までのようなホームルームはない
- 時限ごとに違う教室に行く
- 他学部や上級生とも一緒に授業を受ける
- 1人だけで教室に行くこともある



# 時間割は 自分で組み立てる

大学では同じ時間帯に、いくつかの異なった授業が行われ、必修科目以外は、自分で自由に選択



2

4年で卒業するには

自由度が高い中、どうすれば4年で卒業できるか



# ポイント

ゼミの大切さを認識しゼミに入る  
学習サポート体制を利用する  
アルバイトをしすぎない  
(何が優先かをよく考える)

# 2年～4年ゼミの内容

---

ディベート.....言葉によるスポーツ

---

輪読.....テキストの内容をレポーターが報告、質疑応答

---

共同論文.....全員で分担し作成

---

卒業論文.....個人が自分の興味あるテーマについて作成(4年次)

---

ゼミ合宿.....夏季休暇中などに実施輪読、論文作成、ディベートなど

# ゼミの意義(ゼミに入らない不意義)

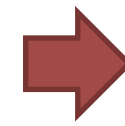
ゼミに入らなかった学生は、入った学生と比べると、4年で卒業できなかった割合が4倍となっていた(2010年入学生)

加えて、卒業が遅れると学費も100万円近くかさむ、友人もいなくなる(授業や就職の情報交換が出来ない)といった問題も新たに出てくる

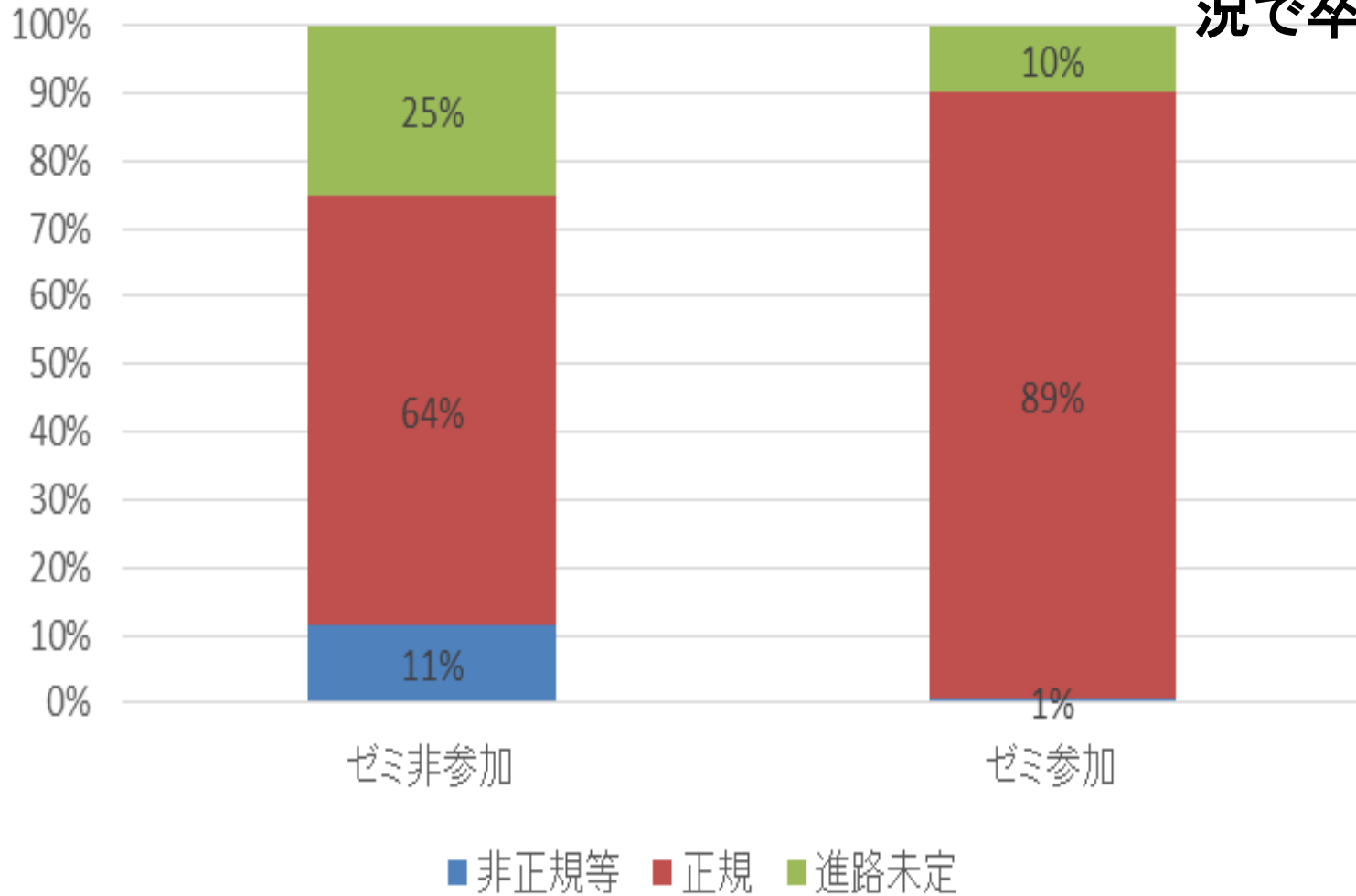
**ゼミは学生生活の基盤  
(週1回の「基地」)**

# 2016年卒業学生データ分析より

## ゼミ参加状況と進路



非参加の3割  
が不安定状  
況で卒業



# 学習サポート体制

◇ 基礎科目「演習」

◇ TEES

◇ サポートデスク

# 基礎科目「演習」

- ◆ 2004年度から、必修科目（入門、ミクロ、マクロ）に併設、学力別編成
- ◆ 問題演習＋課題（あるいは小テスト）を通じた知識確保と思考力養成
- ◆ 若手講師と学生アシスタント（成績優秀者）のチームプレイ
- ◆ 演習合格者≒必修合格者

# TEES (東洋大学経済学部 eラーニングシステム)

## ◆ 演習の補助として導入

「スマホがあれば、いつでもどこでも」

- ◆ 問題の反復練習により、知識の刷り込み
- ◆ 利用者は顕著に成績向上

# サポートデスク

- ◆ 必修科目が不合格の学生＝情報と認識不足が多い。
- ◆ 中間試験などで下位**20%**あるいは対応する点数以下の学生を指名（*Jaynet-Ace*や*TEES*経由）。参加すれば一定点まで加算。
- ◆ 参加した学生の多くは単位修得。

指名しても来ない学生は？

→そもそも見てないか来ていない



# 単位僅少者制度(相談会)

## ◇ 秋学期

1年生 前セメスタ修得 10単位未満(フル24単位)

## ◇ 春学期

新2年生 前セメスタ修得 10単位未満(フル24単位)

かつ通算修得 20単位未満(フル48単位)

新3年生 前セメスタ修得 10単位未満(フル24単位)

かつ通算修得 60単位未満(フル96単位)

## イエローカード的制度

参加率低い(連絡←知っていても来ない)⇒ 保護者の方々の協力

# 3

## 保護者の方へお願い

---

ご子息・ご息女が、大学の授業に出るよう声がけをしてください。

---

アルバイト(特に深夜)に注意してください。

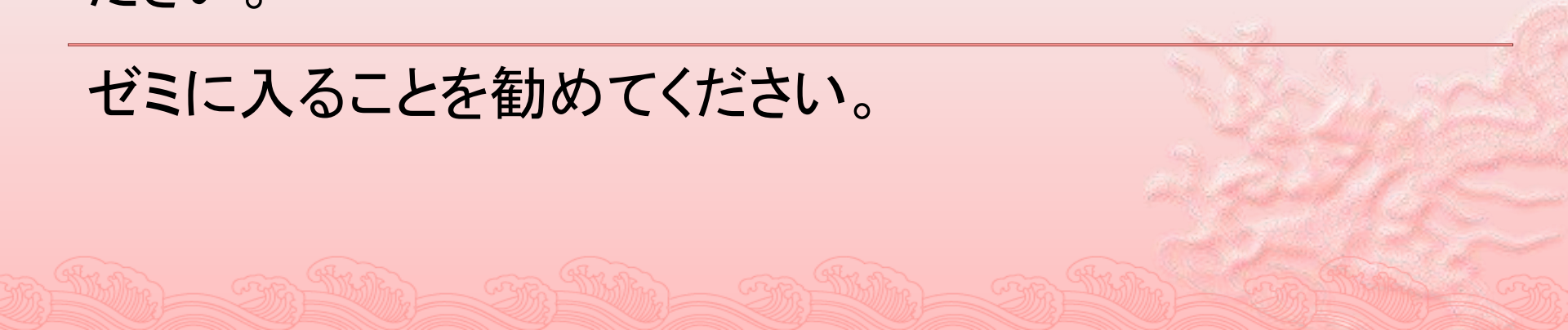
---

Toyonet-G, ToyoNet-ACEやTEESを見るように声をかけてください。

---

ゼミに入ることを勧めてください。

---



大学4年間は  
高校3年間と同等に  
人生の大事な節目  
ご子息・ご息女を  
よく見ていただけたら幸いです